施工説明書

2005.8

TOTO

トイレリフト

EWC130/EWC131

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 はじめに

1．電気工事が必要な場合は必ず電気工事店に依頼してください。
2．製品にはお客様用として、取扱説明書（保証書付き）を同梱しています。工事完了後はお客様にお渡しください。また、この施工説明書も合わせてお客様にお渡しください。
3．保証書には、お取付店名およびお取付日を必ず記入してください。

2 安全上のご注意

必ずお守りください。

取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	意味	絵表示の例	意味
	してはいけない「禁止」の内容です。		必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

分解禁止	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理、改造は行わない 火災や感電の原因になります。
ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。

⚠警告

水場使用禁止	屋外や浴室など、水がかかったり湿気が多い場所には設置しない 火災や感電の原因になります。
禁止	指定する電源（交流100V）以外では使用しない 火災の原因になります。
	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	電源コードを折り曲げたり、重いものをのせるなど乱暴に扱わない 火災や感電の原因になります。
	電源コードはトイレリフト本体に巻き付けたり引っかけたりしない 便座の動きによってプラグやコードが傷み、火災や感電の原因になります。
必ず実行	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷み、火災や感電の原因になります。
	ウォシュレットなどの便座を取り付けた際は、トイレリフトを昇降させ、便座の給水ホースや電源コードに無理な力がかかっていないことを確認する 便座の動きによって給水ホースやプラグが傷み、水漏れ、火災、感電の原因になります。

⚠注意

禁止	施工時やメンテナンス時などに、トイレリフトを直接床置きしない 床を傷つけたり、トイレリフトが傷ついたりする原因になります。
	ウォシュレットの給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない 水が漏れて室内浸水の原因になります。
	トイレリフトや便座を固定していない状態で、便座に座ってトイレリフトを使用しない 製品が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。
必ず実行	持ち運びや作業の際、トイレリフトの便器固定プレートと便座受けプレートの間、便器固定プレートと便器の間に手指を挟まないように注意する けがをする原因になります。 (P10・12)

⚠注意

必ず実行

設置する場所に紙巻器や手すりなどがある場合は、トイレリフト本体と干渉しないこと、手指を挟まないことを確認する
ご使用者のけがや、器具が破損する原因になります。 (P4)

トイレリフトと大便器の接続には、必ず同梱している便器固定ボルト（ゴムブッシュ）を使用する
古い便器固定ボルトを使用すると、動作中に便器固定ボルトが外れて、転倒してけがをする原因になります。 (P10)

駆動装置間の接続コードが便器固定プレートの下敷きにならないよう注意する
製品が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。 (P11・12)

トイレリフトを取り付けたあと、しっかり固定されていることを確認する
製品が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。 (P14)

アームレストを付ける場合は必ず床固定する
アームレストや便器が傾いて、転倒してけがをしたり、水が漏れて室内浸水の原因になります。 (P22)

床固定する場合、取付床の下地は12mm厚以上の板を使用する (P23)
下地厚が不足すると、アームレストが傾いて、転倒してけがをする原因になります。

床固定する場合、支持脚を便器の高さに合わせて調整を行う
高さ調整が不適切だと、アームレストが傾いて、転倒してけがをする原因になります。 (P22)

床固定する場合、床固定プレートは床固定木ねじを確実に締めこんで固定する
締め付けが不十分だと、アームレストが傾いて、転倒してけがをする原因になります。 (P23)

昇降方向の切り替え作業は、必ず施工業者の方が行う
作業が不十分だと、座面が傾いて、転倒してけがをする原因になります。(P15)

昇降方向を切り替える際は、皿ばねを必ず指定された向きに入れる
向きを逆にして取り付けると、ボルトがゆるんで外れ、転倒してけがをする原因になります。 (P17)

操作スイッチのプラグを駆動装置下の差し込み口に抜き差しする際は、必ず便座受けプレートを最下端まで下げ、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行う
便座受けプレートが下降し、手指を挟んでけがをする原因になります。 (P13)

ウォシュレットへの給水は、必ずウォシュレット指定の給水ホースを使う
指定以外の給水ホースを使うと、製品の動作を妨げ、転倒してけがをする原因になります。

ウォシュレットの給水ホースを引き抜く前に、必ず止水栓を締める
水が漏れて室内浸水の原因になります。 (P9)

ウォシュレットを取り外す際は、給水ホース内の残水を洗面器などで受ける
水が漏れて室内浸水の原因になります。 (P9)

3 お取り付け前のご注意

トイレリフトをお取り付けになるトイレを確認してください。

■トイレの間口について

トイレのドアは有効開口幅が500mm以上であれば、トイレ内への搬入は問題ありません。ただし、EWC131（アームレスト付きタイプ）に関しては、トイレ内に搬入後にアームレストを取り付けてください。

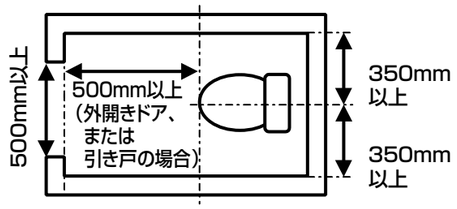
■トイレ内の設置条件について

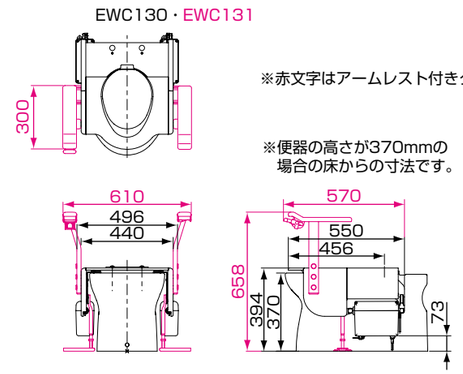
トイレ幅は便器中心より壁面までの距離を350mm以上、便器前端から前側のドアまたは壁までの距離を500mm以上確保してください。紙巻器、手すりなどの取付位置は、トイレリフト本体と干渉しないような位置にしてください。

⚠注意

必ず実行

設置する場所に紙巻器や手すりなどがある場合は、トイレリフト本体と干渉しないこと、手指をは挟まないことを確認する
ご使用者のけがや、器具が破損する原因になります。





※赤文字はアームレスト付きタイプです。

※便器の高さが370mmの場合の床からの寸法です。

■便座の種類について

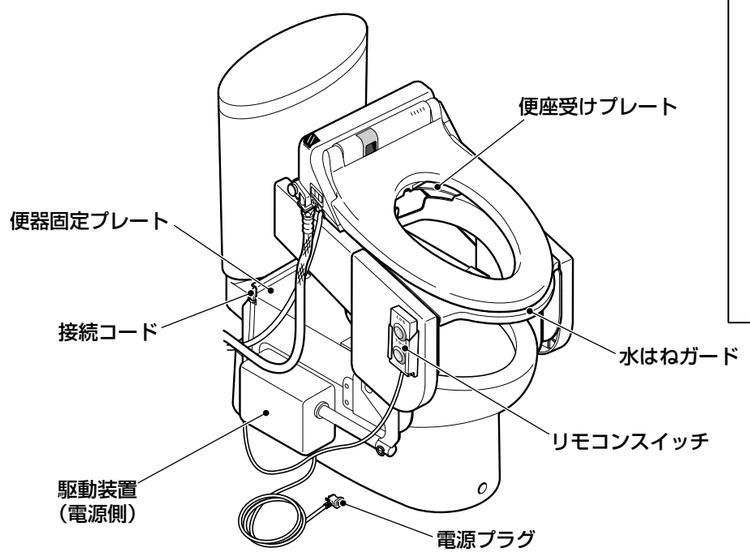
本体ワンタッチ着脱可能なウォシュレット・ウォームレット・脱臭普通便座（TCF20/21）および、ソフト閉止付き普通便座（TC264/274、TC300/301…便ふたなし仕様）をお使いの場合は、トイレリフトに取り付けることが可能です。
ただし、室内暖房機能が付いたウォシュレット（TCF4140/4141系、TCF4040/4041系、TCF780/TCF781）は温風吹き出し口がトイレリフト本体と干渉するため、使用できません。
ソフト閉止付き普通便座（TC264/274、TC300/301…便ふたなし仕様）をお使いになる場合は、別売の取付金具セット〔EW31018、希望小売価格¥500（税込¥525）〕が必要です。

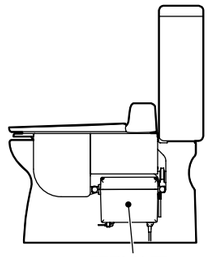
■その他ご注意

電源コードの長さは1.5mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
リモコンスイッチ（EWC130の場合）のコード長さは3mです。リモコンスイッチを壁面に取り付ける際は考慮してください。
便器高さが417mmの場合（C48AS、C710A、C780A）、専用の高さアジャスター〔EWCP130B、2本セット、希望小売価格¥2,000（税込¥2,100）〕が別途必要です。

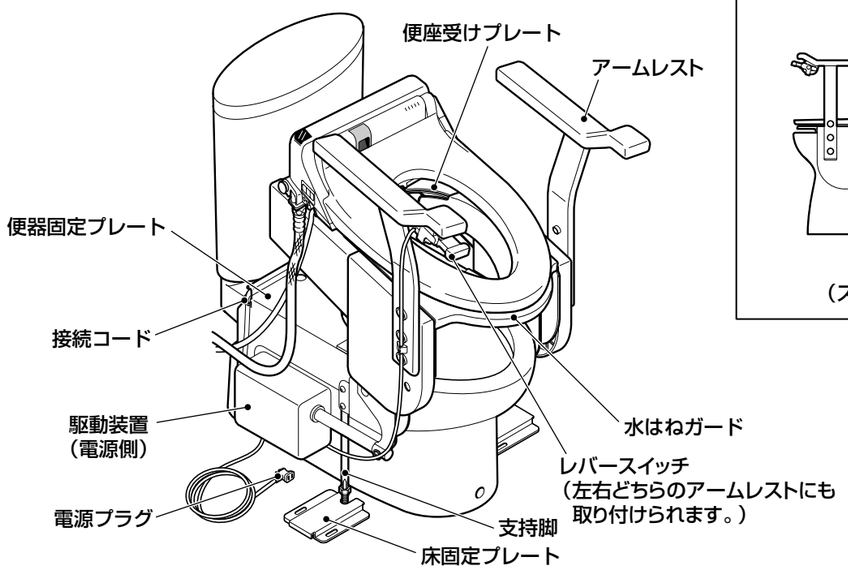
4 各部の名称

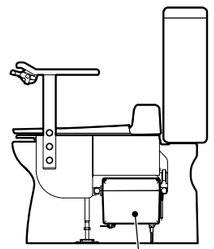
EWC130（アームレストなし）





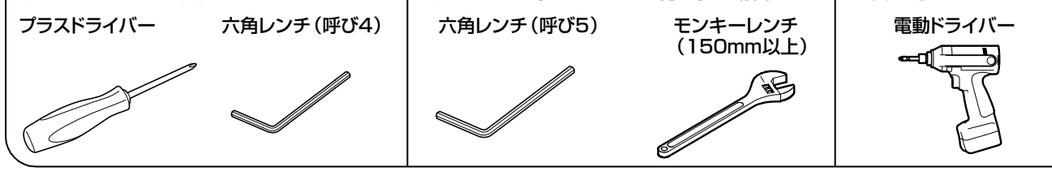
EWC131（アームレスト付き）





次の工具をご用意ください。

EWC130/131共通		EWC131（アームレスト付き）の場合のみ		必要に応じて
プラスドライバー	六角レンチ（呼び4）	六角レンチ（呼び5）	モンキーレンチ（150mm以上）	電動ドライバー



5 梱包内容のご確認

梱包内容を確認してください。

トイレリフト（EWC130,131）共通

名称	印刷物組品	トイレリフト本体		便器固定ボルト
数量	一式	1台		一式
形式	取扱説明書 施工説明書（本書）	EWC130(アームレストなし)支持脚なし	EWC131(アームレスト付き)支持脚あり	ボルト 皿ばね 平座金 樹脂ワッシャー ゴムブッシュ 各2個

名称	前方カバー		後方カバー	ホールキャップ	
数量	左右各1個		2個	EWC130（アームレストなし）…6個	EWC131（アームレスト付き）…8個
形式	左用	右用			

名称	便座ベースプレート取付ねじ	水はねガード
数量	一式	1個
形式	ねじ（M6×16） 平座金 歯付座金 各2個	

トイレリフトEWC130（アームレストなし、リモコンスイッチタイプ）

名称	リモコンスイッチ	リモコンホルダー	ホルダー取付ねじ	ホルダー取付木ねじ
数量	1個	1個	2本	2本
形式			ねじ（M4×6）	木ねじ（D4×20）

名称	リモコンホルダー取付プレート	プレート取付ねじ
数量	1個	2本
形式		ねじ（M8×16）

トイレリフトEWC131（アームレストあり、レバースイッチタイプ）

名称	アームレスト		アームレスト取付ボルト
数量	左右各1本		4本
形式	左用	右用	六角穴付きボルト（M8×25）

名称	床固定プレート	床固定木ねじ
数量	2個	1式
形式		木ねじ（D6×30） 樹脂ワッシャー　各4個

便ふたスペーサー（セット品番にてご購入いただいた場合／別梱包）

取り付け対象便座の種類			トイレリフトセット品番	便ふたスペーサーの種類	
分類	便座名称	便座品番		便ふたスペーサー品番	便ふたスペーサー個数
ウォシュレット	アプリコットN	TCF4110～4131系	EWCS130G/131G	D59025Z T20PW	1個
	アプリコットC	TCF4010～4031系	EWCS130F/131F	D59025 T11R	1個
	S（'04型）	TCF6121～6131系	EWCS130E/131E	D59025Z T21	2種類各1個
	S（'01型）	TCF6010～6031系	EWCS130D/131D	D59025Z T15	1個
	G（'97型）	TCF770/771	EWCS130C/131C	D59025 T7	1個
	S（'98型）	TCF650～671系			
ウォームレット	G（'00型）	TCF222/223系	EWCS130B/131B	D59025 T13	1個
	S（'00型）	TCF108/109系			
	S（'94型）	TCF106/107系	EWCS130A/131A	D59001Z T1	2種類各1個
脱臭普通便座		TCF20/21系			

※ソフト閉止付き普通便座（TC264/274、TC300/301…便ふたなし仕様）をお使いになる場合は、別売の取付金具セット〔EW31018、希望小売価格¥500（税込¥525）〕が必要です。

※EWC131（アームレスト付き）を、車いす対応便器（C48AS、C480A、CS20AB、CS80ABなど）・車いす対応便器台（HP700F）を取り付けた便器に設置する場合は、支持脚の高さ調整するために、別売の高さアジャスター〔 EWCP130B 、希望小売価格¥2,000（税込¥2,100）、2本入り〕が必要です。

6 仕様

項目		EWC130（アームレストなし）	EWC131（アームレスト付き）
本体寸法	斜め昇降時	幅496×奥行き550～610×高さ335～563mm	幅610×奥行き570～690×高さ658～780mm
	垂直昇降時	幅496×奥行き550～585×高さ335～455mm	幅610×奥行き570～605×高さ658～778mm
本体		鋼板塗装仕上げ	
電源		AC100V-200W　50/60Hz	
駆動方式		DCモーター仕様のリードスクリュー方式	
昇降範囲	斜め昇降時	便座角度0°～15°	
	垂直昇降時	垂直方向120mm	
昇降耐荷重		100kgまで	
操作スイッチ		リモコンスイッチ（ワイヤー式）	レバースイッチ(左右切り替え可能)
カラー		本体:ペールホワイト、アームレスト:ハーベストブラウン	
質量		20kg	21kg
高さアジャスター代		—	42mm(便器高さ350～380mmに対応)

7 取付方法

1．既存便座を取り外してください。

本体ワンタッチ着脱可能なウォシュレット・ウォームレット・脱臭普通便座（TCF20/21）および、ソフト閉止付き普通便座（TC264/274、TC300/301…便ふたなし仕様）以外は、取り外してもトイレリフトには取り付けできませんのでご注意ください。

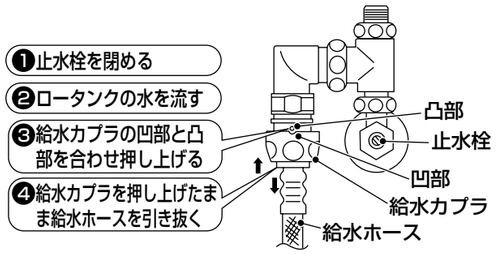
1−1．ウォシュレット、ウォームレット、脱臭普通便座の場合

①ウォシュレット、ウォームレット、脱臭普通便座の電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告	ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。

②ウォシュレットの場合は、右図の手順にしたがい、分岐金具から給水ホースを取り外してください。
このとき、給水ホース内の残水を洗面器などで受けてください。

※分岐金具および給水ホースの接続方法はウォシュレットの機種により異なります。



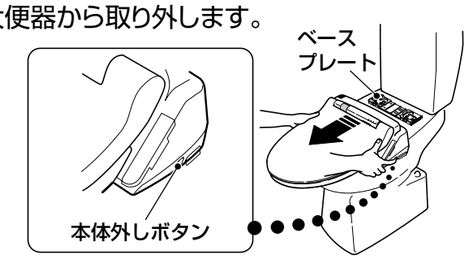
例）アプリコットNの場合

⚠注意	必ず実行	ウォシュレットの給水ホースを引き抜く前に、必ず止水栓を締める 水が漏れて室内浸水の原因になります。

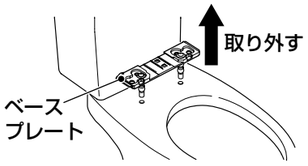
⚠注意	必ず実行	ウォシュレットを取り外す際は、給水ホース内の残水を洗面器などで受ける 水が漏れて室内浸水の原因になります。

③ウォシュレット、ウォームレット、脱臭普通便座を大便器から取り外します。

（1）便座本体右側の本体外しボタンを押したまま、便座本体を手前に引いてください。
※便器洗浄ユニット付きのウォシュレットの場合は便器洗浄ユニットのコードのプラグも外してください。



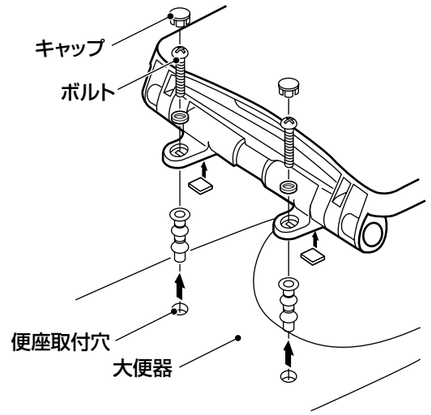
（2）プラスドライバーを使い、ベースプレートを固定しているボルトをゆるめ、ベースプレートを取り外してください。



1−2．ソフト閉止付き普通便座の場合

①キャップを取り外してください。

②プラスドライバーを使い、ボルトを取り外してください。



2．トイレ内へトイレリフトを搬入してください。

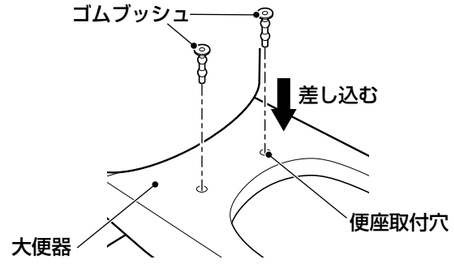
トイレリフト本体をトイレ内へ搬入してください。

⚠注意	必ず実行	持ち運びや作業の際、トイレリフトの便器固定プレートと便座受けプレートの間、便器固定プレートと便器の間に手指をは挟まないように注意する けがをする原因になります。

3．トイレリフトを大便器に固定してください。

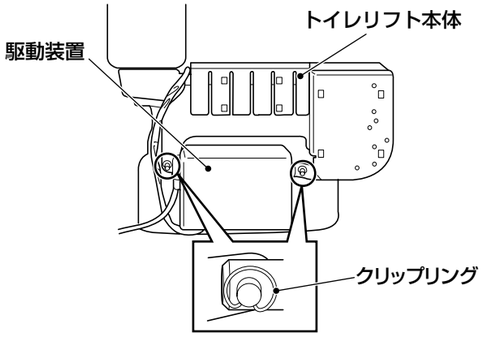
トイレリフトに同梱されている便器固定ボルトを使用して、トイレリフトを大便器に取り付けます。

①同梱のゴムブッシュを大便器の便座取付穴に差し込んでください。

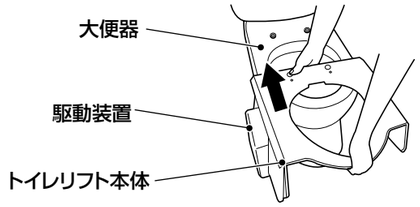


⚠注意	必ず実行	トイレリフトと大便器の接続には、必ず同梱している便器固定ボルト（ゴムブッシュ）を使用する 古い便器固定ボルトを使用すると、動作中に便器固定ボルトが外れて、転倒してけがをする原因になります。

②駆動装置をトイレリフト本体に固定している「クリップリング」が左右各2カ所とも確実に取り付いていることを確認してください。



③トイレリフト本体を大便器前方から、駆動装置が大便器に当たらないように注意しながら、大便器の奥側に向かって少し入れてください。



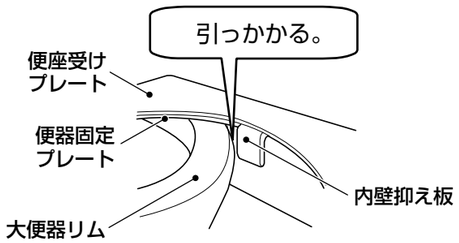
ポイント

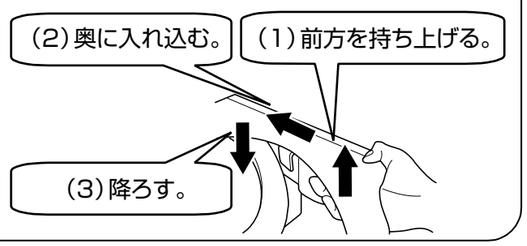
上方からでは駆動装置が引っかかり、入りません。

⚠注意	必ず実行	駆動装置間の接続コードが便器固定プレートの下敷きにならないよう注意する 製品が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。

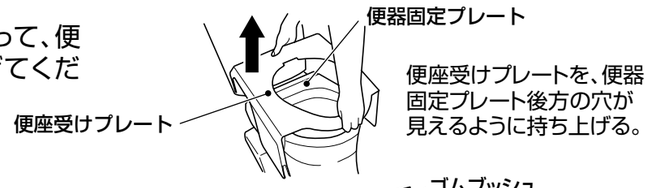
④そのまま押し込むと内壁抑え板が大便器リムの外側に引っかかって入らないので、

（1）便器固定プレートを少し持ち上げて
（2）内壁抑え板が大便器リムを乗り越えて大便器便器リム内側に入るまで奥に入れ込んで
（3）便器固定プレートを降ろしてください。

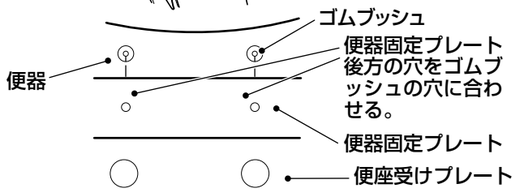




⑤（1）便座受けプレートだけを持って、便座受けプレートを持ち上げてください。



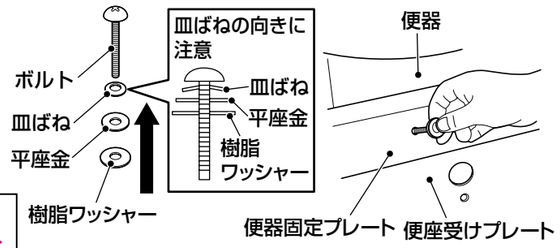
（2）その状態で、便器固定プレートの後方の穴を①で差し込んだゴムブッシュの穴に合うようにセットしてください。



⚠注意	必ず実行	持ち運びや作業の際、トイレリフトの便器固定プレートと便座受けプレートの間、便器固定プレートと便器の間に手指を挟まないように注意する けがをする原因になります。

⚠注意	必ず実行	駆動装置間の接続コードが便器固定プレートの下敷きにならないよう注意する 製品が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。

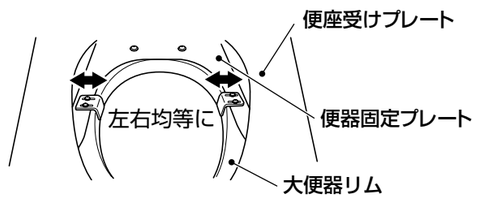
⑥便器固定ボルトのボルトを皿ばね、平座金、樹脂ワッシャーの順に通し、⑤で合わせた穴に差し込んでください。



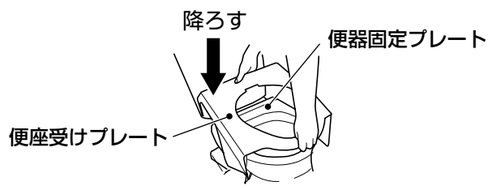
注意

同梱している樹脂ワッシャーを必ずボルトの一番下に入れてください。
（トイレリフトの傷、塗装はがれの原因になります。）

⑦便器固定プレートが大便器リムに左右均等に乗るようにトイレリフト本体を動かして調整してください。



⑧便座受けプレートを降ろしてください。

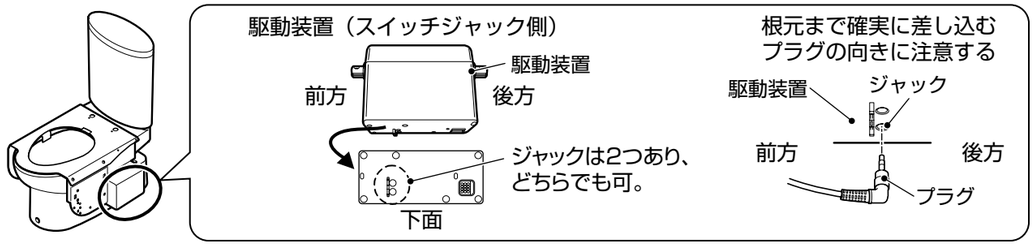


⑨操作スイッチ（リモコンスイッチ／レバースイッチ）のプラグを駆動装置（スイッチジャック側）下の差し込み口に根元まで確実に差し込んでください。

⚠注意

必ず実行

操作スイッチのプラグを駆動装置下の差し込み口に抜き差しする際は、必ず便座受けプレートを最下端まで下げ、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行う
便座受けプレートが下降し、手指を挟んでけがをする原因になります。



⑩トイレリフトの電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

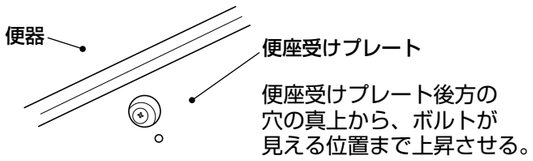
⚠警告　ぬれ手禁止
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

⚠警告　禁止
指定する電源（交流100V）以外では使用しない
火災の原因になります。

⚠警告　禁止
ガタついているコンセントは使わない
火災や感電の原因になります。

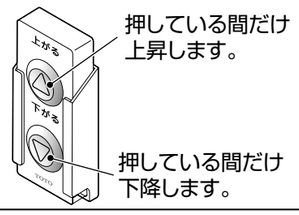
⚠警告　必ず実行
電源プラグは根元まで確実に差し込む
火災や感電の原因になります。

⑪操作スイッチを操作し、真上から見て、便座受けプレート後方に空いている穴から⑥で差し込んだボルトが穴の中心に見える位置まで便座受けプレートを上昇させてください。

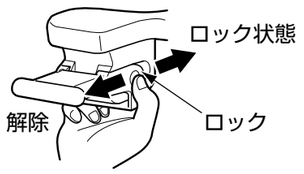


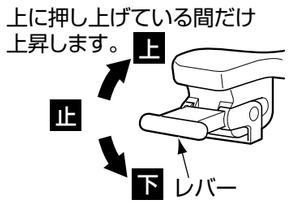
【操作スイッチ操作方法】

（1）リモコンスイッチ（EWC130の場合）

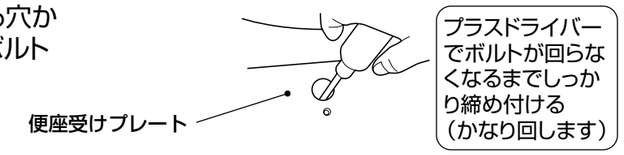


（2）レバースイッチ（EWC131の場合）

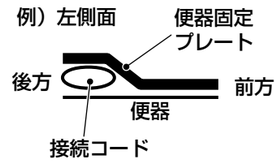




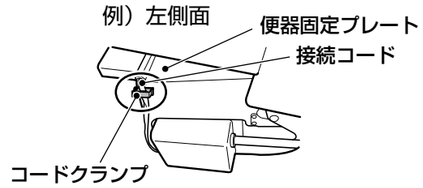
⑫便座受けプレート後方に空いている穴からプラスドライバーを差し込んで、ボルトを締め付けてください。



⑬（1）駆動装置間の接続コードを便器固定プレート後部の下側空間にしまい込まれていることを確認してください。



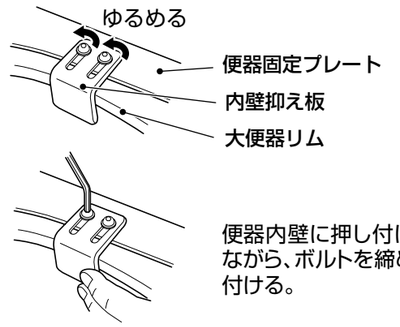
（2）側面では接続コードがコードクランプで固定されていることを確認してください。



⑭内壁抑え板を固定します。

（1）六角穴付きボルトを六角レンチ（対辺4）でゆるめ、内壁抑え板を動かし、大便器リムの内壁に当たるように調整してください。

（2）内壁抑え板を便器内壁に押し付けながら、ボルトを締め付けてください。左右共に締め付けてください。



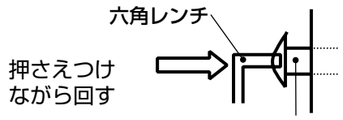
ポイント

工場出荷の状態では、内壁抑え板が最も飛び出した状態になっています。

⚠注意　必ず実行
トイレリフトを取り付けたあと、しっかり固定されていることを確認する
製品が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。

注意

六角レンチを六角穴付きボルトに押さえつけながら回してください。（押さえつけないで回すと、レンチが空回りし、ボルトの穴をつぶす原因になります。



4．ご使用者に合わせて昇降方向の切り替えを行ってください。

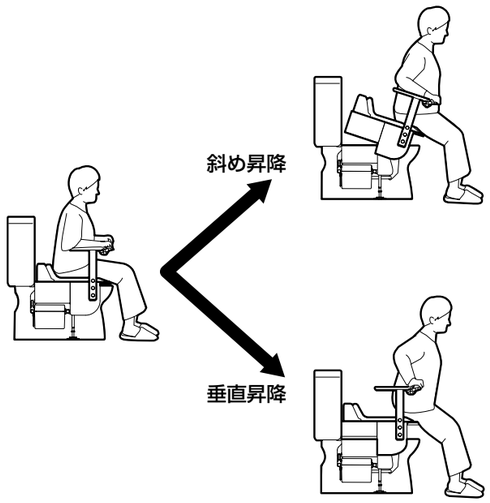
工場出荷の状態では、斜め昇降にセットされています。ご使用になられる方の身体状況に合わせて、垂直昇降への切り替えができます。斜め昇降のままで良い場合は、手順5へ進んでください。

⚠ 注意

必ず実行

昇降方向の切り替え作業は、必ず施工業者の方が行う
作業が不十分だと、座面が傾いて、転倒してけがをする原因になります。

●使い方（こんな方におすすめです）



【おすすめの方】
- おじぎをして立ち上げるような自然な立ち座り動作で立ち上がれる方。
- 前方へ押し出される感じが立ちやすい方。

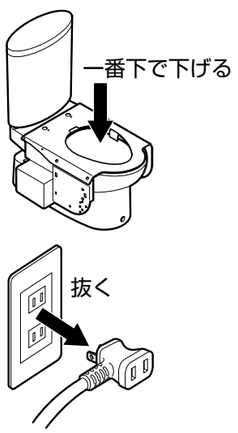
【動作のPoint】
- 立ち座り時の人の動きに合わせた自然な経路とスピードで、斜め方向に昇降します。
- 便座の角度が0°～15°の範囲で昇降し、お好みの位置で止めることができます。

【おすすめの方】
- 立ち上がるときに「高さ」が足りず、前に押し出されて不安定になる方。
- 足が曲げづらい方、頭を前方に傾けることに不安を感じ、　座位を安定させたまま立ち上がりたい方。

【動作のPoint】
- 座ったままの安定した姿勢で垂直方向に120mm昇降し、お好みの位置で止めることができます。

4−1．斜め昇降（出荷時）→垂直昇降への切り替え

①操作スイッチで便座受けプレートを一番下まで下げ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

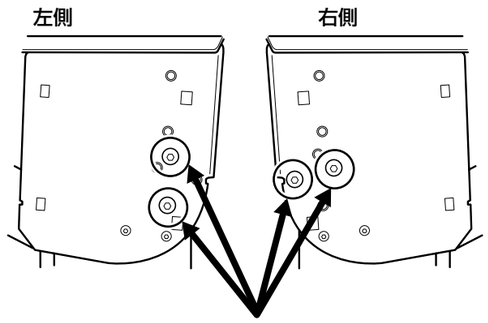


⚠ 警告

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

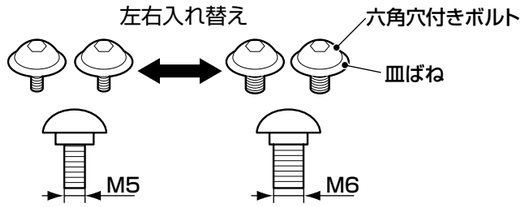
②図に示す六角穴付きボルト（左右各2カ所）を六角レンチ（呼び4）で取り外してください。



このボルト（左右各2本）を外す。

注意
六角レンチは六角穴付きボルトに押さえつけながら回してください。
（押さえつけないで回すと、レンチが空回りし、ボルトの穴をつぶす原因になります。）

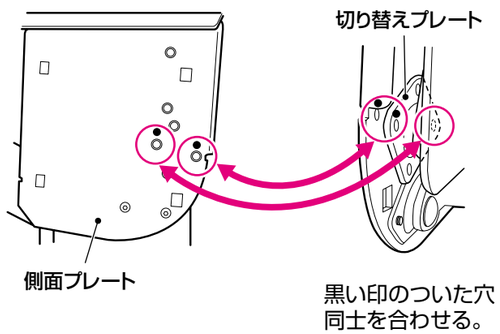
③②で外した左右各2本の六角穴付きボルトを左右入れ替えてください。



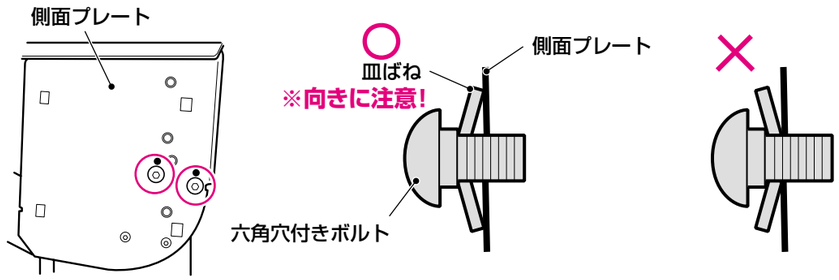
ポイント
切り替えボルトは、取り付いている位置および、ボルトの径が左右で異なります。
（六角穴の大きさは左右同じです。）

ポイント
切り替えボルトは、左右で径が異なります。
これは、片側のみの昇降方向切り替えによるトイレリフト本体の破損を防止するためです。

④左側を『垂直昇降』へ切り替えます。
トイレリフト側面プレート外側の穴は黒い印のついた穴を使用します。
内側にある切り替えプレートの穴は、黒い印のついた穴と、その対角側にある穴を使用します。これら、側面プレートの穴と切り替えプレートの穴が合うように切り替えプレートを動かして合わせてください。



⑤④で合わせた穴に、③で左右入れ替えた六角穴付きボルトを皿ばねの向きに注意して差し込み、六角レンチ（呼び4）で強く締め付けてください。



⚠ 注意	必ず実行	皿ばねを必ず指定された向きに入れる 向きを逆にして取り付けると、ボルトがゆるんで外れ、転倒してけがをする原因になります。

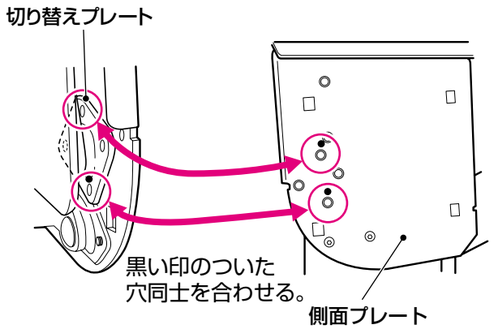
ポイント

最初の1本は仮締めとし、もう1本を差し込み仮締めしたあと、2本とも本締めしてください。
穴の位置が合いにくい場合は、便座受けプレート後端を上下に動かしながらスムーズに締め込める位置を見つけてください。

注意

六角レンチは六角穴付きボルトに押さえつけながら回してください。
（押さえつけないで回すと、レンチが空回りし、ボルトの穴をつぶす原因になります。）

⑥右側を『垂直昇降』に切り替えます。
左側同様に、トイレリフト側面プレート外側の穴は、黒い印の付いた穴を使用します。内側にある切り替えプレートの穴は、黒い印の付いた穴とその対角側にある穴を使用します。これら側面プレートの穴と、切り替えプレートの穴を合わせ、③で左右入れ替えた六角穴付きボルトを差し込み、六角レンチ（呼び4）で強く締め付けてください。

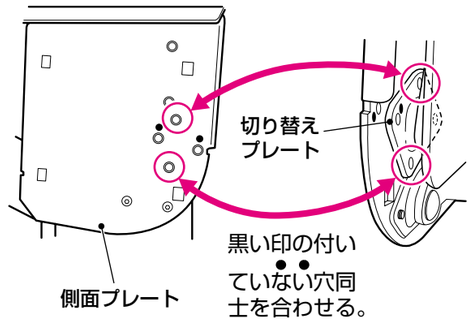


⑦便座受けプレートを手で持ち上げ、『垂直昇降』に切り替わっていることを確認してください。

2. 垂直昇降→斜め昇降への切り替え

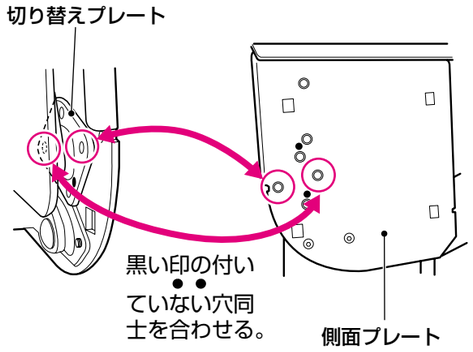
①～③までは、『斜め昇降→垂直昇降への切り替え』と同様です。

④左側を『斜め昇降』に切り替えます。
トイレリフト側面プレート外側の穴は、黒い印の付いていない穴を使用します。内側にある切り替えプレートの穴は、対角の穴に、黒い印の付いていない穴を使用します。これら側面プレートの穴と切り替えプレートの穴が合うように切り替えプレートを動かして合わせてください。



⑤③で左右入れ替えた六角穴付きボルトを差し込み、六角レンチ（呼び4）で強く締め付けてください。
締め付けの際の注意・ポイントは、『斜め昇降（出荷時）→垂直昇降への切り替えの手順（17ページ）』でご確認ください。

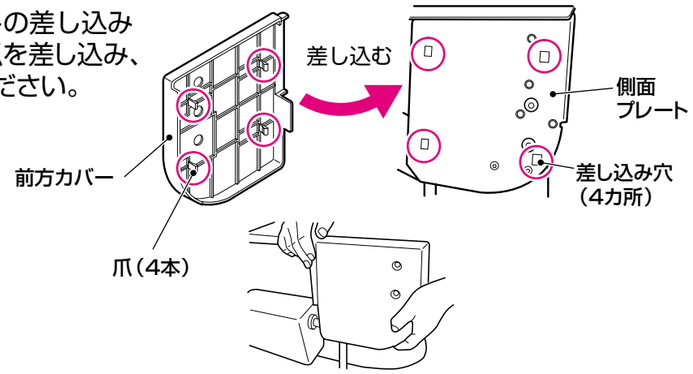
⑥右側を『斜め昇降』に切り替えます。
左側同様に、トイレリフト側面プレート外側の穴は、黒い印の付いていない穴を使用します。内側にある切り替えプレートの穴は、対角の穴に黒い印の付いていない穴を使用します。これら側面プレートの穴と切り替えプレートの穴を合わせ、③で左右入れ替えた六角穴付きボルトを差し込み、六角レンチ（呼び4）で強く締め付けてください。



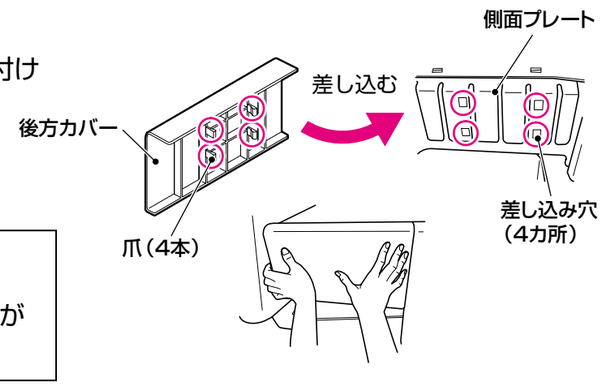
⑦便座受けプレートを手で持ち上げ、『斜め昇降』に切り替わっていることを確認してください。

5．トイレリフト側面にカバーを取り付けてください。

①トイレリフト側面プレートの差し込み穴に、前方カバー裏面の爪を差し込み、前方カバーを取り付けてください。（左右とも）



②前方カバー同様、後方カバーを取り付けてください。（左右とも）



注意

必ず前方カバーから付けてください。
（後方カバーからつけると前方カバーが付けられません）

6．便ふたを取り外し、便ふたスペーサーを取り付けてください。

トイレリフトをご使用になるときは、便ふたは取り外してください。
その場合、必ず各便座に合った便ふたスペーサーを取り付けてください。

※便ふたスペーサーの取付方法は、別梱包の便ふたスペーサー取扱説明書をご参照ください。

※便ふたなし仕様の便座をご購入の場合は、便ふたスペーサーの取り付けは必要ありません。

※ソフト閉止付き普通便座（TC264/274、TC300/301）は現場で便ふたスペーサーの取り付けはできません。ソフト閉止付き普通便座をご使用になる場合は、便ふたなし仕様をお求めください。

7．便座を取り付けてください。

便座を便座受けプレートに取り付けます。
必ず専用の便座ベースプレート取付ねじを使用してください。
ソフト閉止付き普通便座（TC264/274、TC300/301…便ふたなし仕様）をお使いになる場合は、別売の取付金具セット〔EW31018、希望小売価格¥500（税込¥525）〕が必要です。

本体ワンタッチ着脱可能なウォシュレット・ウォームレット・脱臭普通便座（TCF20/21）および、ソフト閉止付き普通便座（TC264/274、TC300/301…便ふたなし仕様）以外はトイレリフトには取り付けできません。

7−1．ウォシュレット、ウォームレット、脱臭普通便座の場合

①ベースプレート（便座にセットされているもの）を、トイレリフト本体便座受けプレートの取付穴へ同梱の便座ベースプレート取付ねじで固定してください。

②ベースプレートのスライド溝と便座ケース本体の溝の位置を合わせ、奥にスライドさせて「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込んでください。

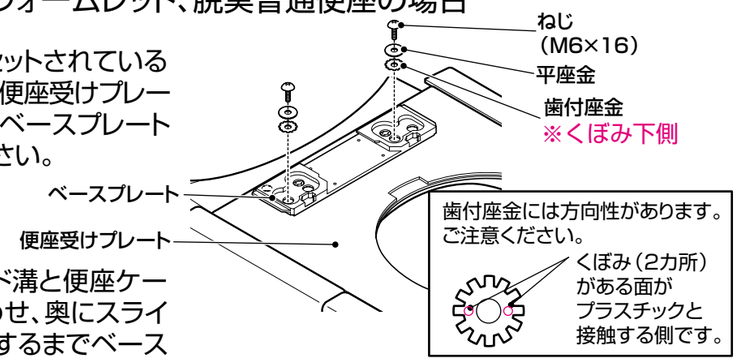
※便器洗浄ユニット付きのウォシュレットの場合は便器洗浄ユニットのコードのプラグも接続してください。

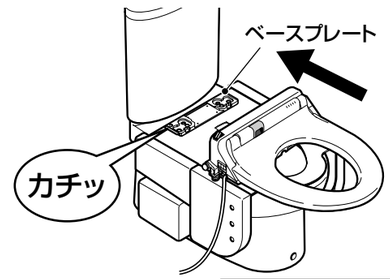
③便座下面の凸部が便座受けプレートに干渉していないことを確認してください。干渉している場合は、①で取り付けたベースプレートを少し前にずらしてください。

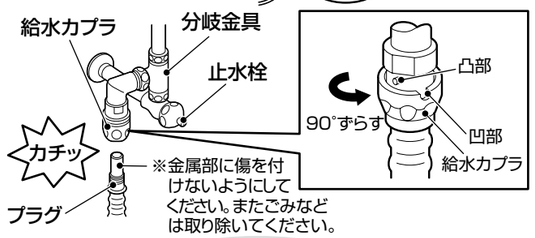
④便座を手前に引っ張ってみて便座がベースプレートから外れないことを確認してください。

⑤ウォシュレットの場合は、右図の手順に従い、分岐金具に給水ホースを接続してください。

※分岐金具および給水ホースの接続方法はウォシュレットの機種により異なります。
詳しくは、ウォシュレットの施工説明書をご確認ください。







ポイント

「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

例）アプリコットNの場合

⑥便座およびトイレリフトの電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

⚠警告	ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
⚠警告	禁止	指定する電源（交流100V）以外では使用しない 火災の原因になります。
⚠警告	禁止	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。
⚠警告	必ず実行	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。

⑦トイレリフトのスイッチを操作し、トイレリフトを昇降させ、ウォシュレットなどの便座の給水ホースや電源コードに無理な力がかかっていないことを確認してください。

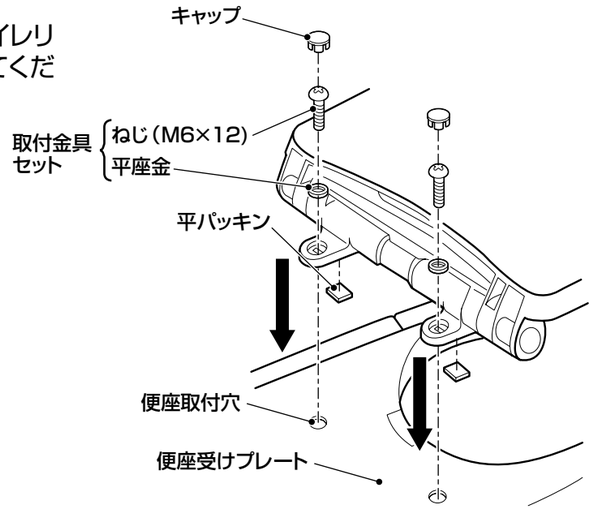
⚠警告	必ず実行	ウォシュレットなどの便座を取り付けた際は、トイレリフトを昇降させ、便座の給水ホースや電源コードに無理な力がかかっていないことを確認する 便座の動きによって給水ホースやプラグが傷み、水漏れ、火災、感電の原因になります。

7−2. ソフト閉止付き普通便座（TC264/274,TC300/301）の場合

取り付けには別売の取付金具セット〔EW31018、希望小売価格¥500（税込¥525）、ねじ（M6×12）・平座金各2個〕が必要です。

①別売の取付金具セットで便座をトイレリフトの便座受けプレートに固定してください。

②キャップを取り付けてください。

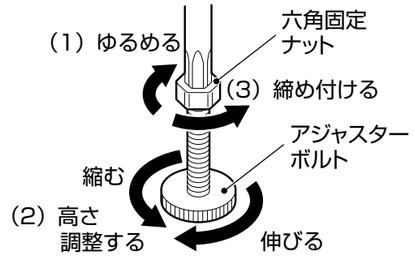


8. 支持脚の高さ調整をしてください。（EWC131の場合）

①操作スイッチを操作し、便座受けプレートを一番上まで上昇させてください。

※車いす対応便器（C48AS、C480A、CS20AB、CS80ABなど）・車いす対応便器台（HP700F）を取り付けた便器に設置する場合は、支持脚の高さ調整するために、別売の高さアジャスター〔EWCP130B、希望小売価格¥2,000（税込¥2,100）、2本入り〕を、高さアジスターの施工説明書に従い取り付けてください。

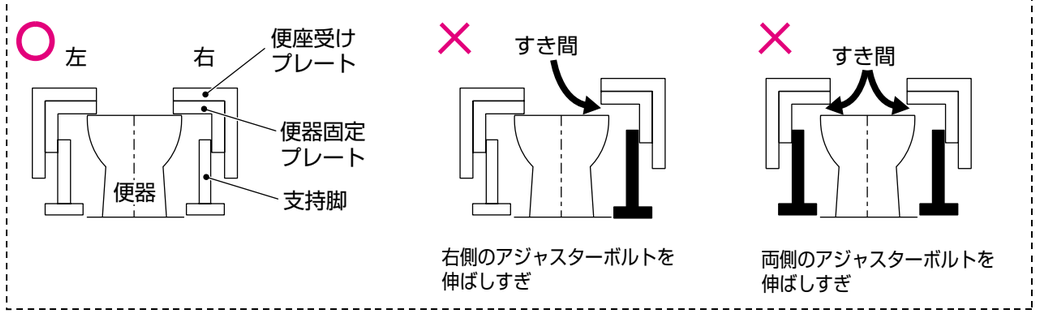
②支持脚の高さを調整します。
六角固定ナットをモンキーレンチでゆるませ、アジャスターボルトを回し、アジャスターボルトが床に触れるか触れない程度に調整してください。
調整できましたら、六角固定ナットを締め付け、アジャスターボルトが動かないように固定してください。



注意

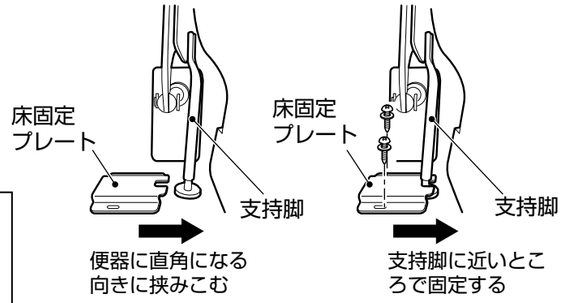
アジャスターボルトを伸ばしすぎると、トイレリフトの便器固定プレートが便器から浮き上がった状態になります。便器固定プレートが便器に確実に接していることを確認してください。

便器と便器固定プレートの接触状態を前方から見た図



⚠注意	必ず実行	アームレストを付ける場合は必ず床固定する アームレストや便器が傾いて、転倒してけがをしたり、水が漏れて室内浸水の原因になります。
⚠注意	必ず実行	床固定する場合、支持脚を便器の高さに合わせて調整を行う 高さ調整が不適切だと、アームレストが傾いて、転倒してけがをする原因になります。

③支持脚を床に固定します。
支持脚を床固定プレートで図のように挟み込み、床固定木ねじで固定してください。



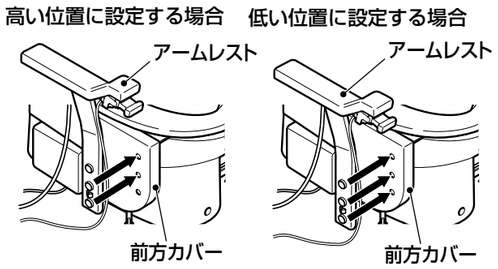
注意

床固定保持力を最大限に発揮できるよう、床固定木ねじは、できる限り支持脚に近いところにねじ込んでください。

⚠ 注意	必ず実行	床固定する場合、取付床の下地は12mm厚以上の板を使用する 下地厚が不足すると、アームレストが傾いて、転倒してけがをする原因になります。
⚠ 注意	必ず実行	床固定する場合、床固定プレートは床固定木ねじを確実に締めこんで固定する 締め付けが不十分だと、アームレストが傾いて、転倒してけがをする原因になります。

9. アームレストを取り付けてください。（EWC131の場合）

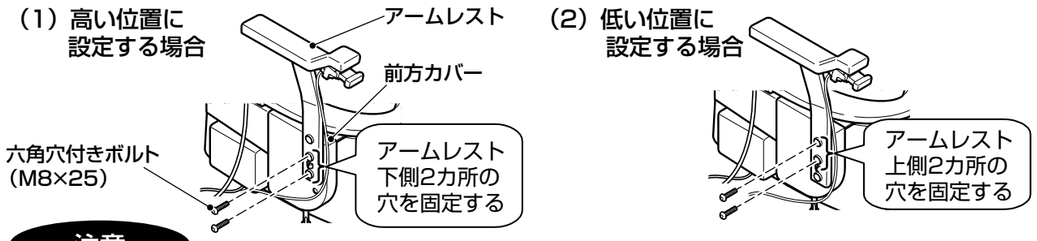
①アームレストの取り付け高さを決めてください。
アームレストの高さは2段階に調整できます。



ポイント

アームレスト高さは、ご使用者の方にトイレリフトにお座りいただき、昇降させて使いやすい高さに設定してください。アームレストを低い位置にすると、袖部に操作スイッチのあるウォシュレットでは操作しづらくなることがあります。

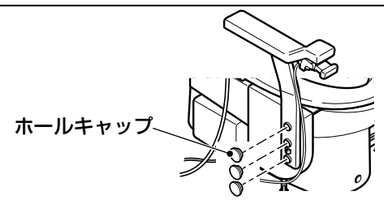
②アームレストを固定します。
アームレスト取付ボルトを六角レンチ（対辺5）を使用し、左右それぞれ2カ所固定してください。



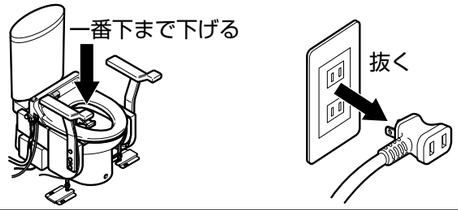
注意

六角レンチを六角穴付きボルトに押さえつけながら回してください。（押さえつけないで回すと、レンチが空回りし、ボルトの穴をつぶす原因になります。）

③ホールキャップを取り付けてください。
アームレストを高い位置に設定する場合は片側4カ所、低い位置に設定する場合は片側3カ所にホールキャップを取り付けてください。



④操作スイッチで便座受けプレートを一番下まで下げ、トイレリフトの電源プラグをコンセントから抜いてください。



⚠ 警告	ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。

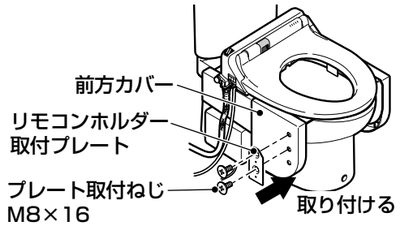
10. 操作スイッチを取り付けてください。

10−1. EWC130（アームレストなし、リモコンスイッチタイプ）の場合

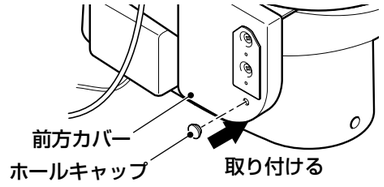
リモコンホルダーはお客様のお好みに合わせて、「（10−1−1）トイレリフトへの取り付け」あるいは「（10−1−2）壁への取り付け」をお選びください。

10−1−1. トイレリフトへの取り付け

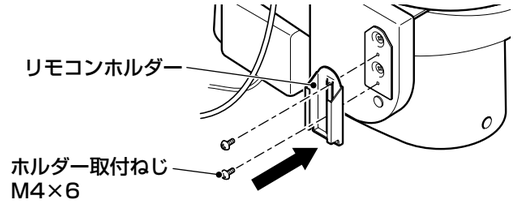
①前方カバーにリモコンホルダー取付プレートをプレート取付ねじで固定してください。
左右どちらでも取り付け可能です。
前方カバーの上2つの穴を利用します。



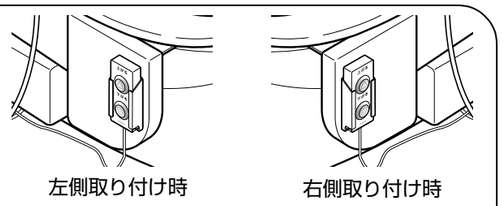
②ホールキャップを取り付けます。
トイレリフト前方カバーの穴（リモコンホルダーを取り付けた側1カ所、取り付けない側3カ所）にホールキャップを取り付けてください。



③リモコンホルダーを取り付けます。
リモコンホルダーを、ホルダー取付ねじを使い、リモコンホルダー取付プレートに2カ所固定してください。



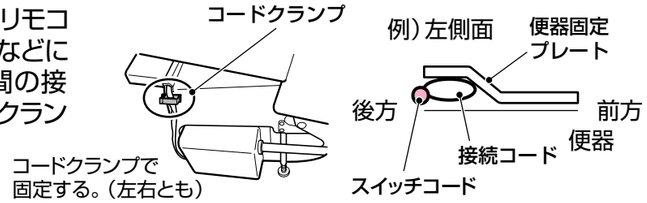
④リモコンをリモコンホルダーに差し込んでください。



ポイント

リモコンが差し込みにくい場合は、③で取り付けたねじをホルダーがガタつかない範囲で少しだけゆるめてください。

⑤左側にリモコンを設置する場合は、リモコンコードがトイレリフト本体や便座などに引っかからないように、駆動装置間の接続コード同様に左右に渡してコードクランプで固定してください。

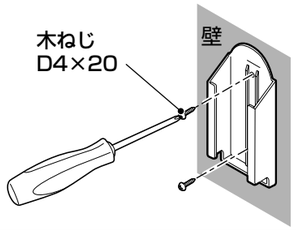


注意

スイッチコードは昇降時に、トイレリフト本体や便座などに引っかかるなどして無理な力がかからないことを確認してください。（コードの抜け、破損の原因になります。）

10−1−2. 壁への取り付け

①リモコンホルダーを取り付けます。
ホルダー取付木ねじを使い、取り付けてください。

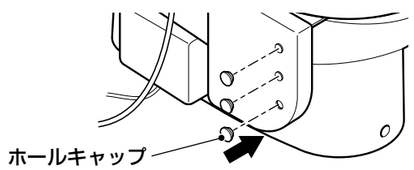


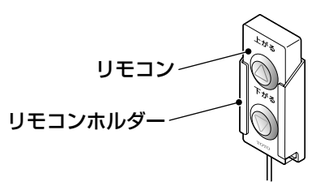
ポイント

- 取付位置は、ご使用者の方にトイレリフトにお座りいただき、昇降させて最も使いやすい位置に取り付けてください。（リモコンスイッチのコードは3mです。）
- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイル壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、市販のアンカープラグを使って取り付けてください。

②ホールキャップを取り付けます。
トイレリフト本体前方カバーの左右両側の3カ所の穴にホールキャップを取り付けてください。

③リモコンをリモコンホルダーに差し込んでください。





ポイント

リモコンが差し込みにくい場合は、①で取り付けた木ねじをホルダーがガタつかない範囲で少しだけゆるめてください。

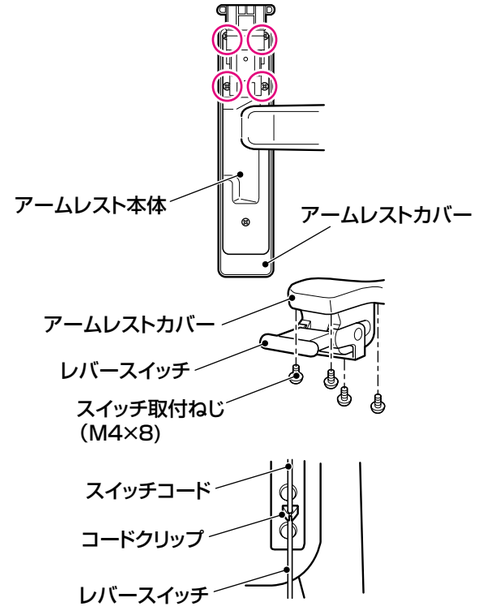
10−2. EW131（アームレストあり、レバースイッチタイプ）の場合

①レバースイッチをアームレストに固定している4本のねじを外し、レバースイッチを取り外してください。

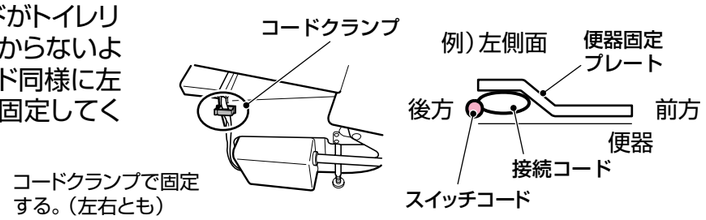
②同様に、反対側のアームレストのアームレストの前方4本のねじを外してください。

③①、②を左右入れ替え、それぞれ逆のアームレストに固定してください。

④コードクリップにレバースイッチのコードを固定してください。



⑤左側アームレストにレバースイッチを設置する場合は、スイッチコードがトイレリフト本体や便座などに引っかからないように、駆動装置間の接続コード同様に左右に渡してコードクランプで固定してください。

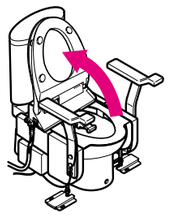


注意

スイッチコードは昇降時に、トイレリフト本体や便座などに引っかかるなどして無理な力がかからないことを確認してください（コードの抜け、破損の原因になります。）

11. 水はねガードを取り付けてください。

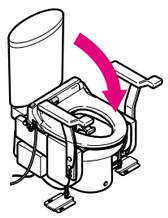
①便座をはね上げます。



②水はねガードを便座受けの穴におさまるように差し込みます。

③便座受けにガタつきなくおさまっているか確認します。

④便座を元の状態に戻します。

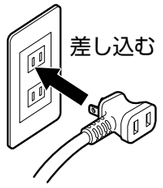


※上記①→④の逆の要領で水はねガードを取り外せます。
※水はねガードは取り外しての使用もできます。

8 試運転

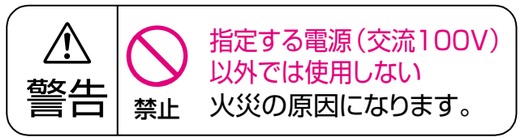
1．電源プラグを接続してください。

トイレリフトの電源プラグをコンセントに根元まで
確実に差し込んでください。



※トイレリフトの電源プラグは、プラグの上からウォシュレットなど便座の電源プラグを差し込むことができます。コンセントが1個口の場合にご活用ください。

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。



指定する電源（交流100V）以外では使用しない
火災の原因になります。

ガタついているコンセントは使わない
火災や感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
火災や感電の原因になります。

2．トイレリフトの機能を確認してください。

①操作スイッチ（リモコンスイッチ／レバースイッチ）で座面を上げ、その状態で一番上まで上昇した際、自動的に停止することを確認してください。

②操作スイッチ（リモコンスイッチ／レバースイッチ）で座面を下げ、その状態で一番下まで降下した際、自動的に停止することを確認してください。

③操作スイッチ（リモコンスイッチ／レバースイッチ）で座面を昇降させ、スイッチから手を離すと昇降が自動的に停止することを確認してください。

3．便座の機能を確認してください。

便座に付属の「取扱説明書」または「ご愛用のしおり」の内容に沿って、便座の機能を確認してください。

4．汚れなどをふき取ってください。

お客様へ引き渡し前に、トイレリフト全体を柔らかい布で軽くふいてください。

9 取り付け後の点検（チェックリスト）

チェックリストに従い、取り付け状態を確認してください。

点検		点検内容（参照ページ）	チェック
取り合い	ドアの開閉	トイレのドアを開閉したとき、トイレリフトに当たりませんか。	
	紙巻器	トイレリフトを昇降させたとき、紙巻器に当たりませんか。 また手挟み、指挟みはしませんか。（P4）	
	手すりなど	トイレ内に手すりなどが設置されている場合、トイレリフトを昇降させたとき、これらと当たりませんか。また手挟み、指挟みはしませんか。（P4）	
	便器、タンクなど	便器、ロータンク、給水金具、排水管などと接触している部分はありませんか。	
取り付け	クリップリング	駆動装置とトイレリフト本体の接続部のクリップリングは外れたりしていませんか。（P11）	
	高さアジャスター	トイレリフトの脚は床に接する程度に高さアジャスターが調整されていますか。（EWC131（アームレスト付き）の場合）（P22）	
	床固定	トイレリフトの脚は床固定プレートで確実に固定されていますか。（EWC131（アームレスト付き）の場合）（P23）	
	操作スイッチ	操作スイッチ（リモコンスイッチ／レバースイッチ）は確実に固定されていますか。（P24～26）	
	便座固定	便座はトイレリフトに確実に固定されていますか。（P20・21）	
	アームレスト	アームレストにガタツキはありませんか。（EWC131（アームレスト付き）の場合）（P23・24）	
給水ホース	接続	各接続部は確実に接続されていますか。（P20）	
		各接続部にはパッキンを使用しましたか。（P20）	
		トイレリフトを昇降させたとき、給水ホースに無理な力がかかっていませんか。（P21）	
	水漏れ	各接続部から水漏れはありませんか。	
電気接続	電源コード	トイレリフトおよびウォシュレットなどの便座の電源コードに足をひっかけるようなたるみはありませんか。	
		トイレリフトを昇降させたとき、トイレリフトおよびウォシュレットなどの便座の電源コードに無理な力がかかっていませんか。（P21）	
	接続コード	トイレリフトを昇降させたとき、本体カバーが接続コードと干渉していませんか。	
		接続コードはコードクランプに確実に固定されていますか。（P14）	
	アースコード	ウォシュレットなどの便座のアースコードは確実に接続されていますか。	
		ウォシュレットなどの便座のアースコードに足をひっかけるようなたるみはありませんか。	
		トイレリフトを昇降させたとき、ウォシュレットなどの便座のアースコードに無理な力がかかっていませんか。	
	スイッチコード	スイッチコードに足をひっかけるようなたるみはありませんか。	
		トイレリフトを昇降させたとき、スイッチコードに無理な力がかかっていませんか。（P25・26）	

10 工事店様へ

・取り付け後は製品の使い方についてお客様に説明してください。
・工事完了後は取扱説明書（保証書付き）、施工説明書、および使わなかった部材（ホールキャップ、リモコンホルダー取付プレートなど）をお客様にお渡しください。
・保証書には、お取付店名およびお取付日を必ず記入してください。